

# TOKAI

東海防衛だより

2019  
令和元年

夏



## 東海防衛支局の取組等／東海3県の自衛隊の動き

- ◆ 平成31年4月伊勢市立桜浜中学校開校
- ◆ 災害で活躍する救助工作車
- ◆ 最後の定期修理を終えたF-4戦闘機航空自衛隊に納入
- ◆ 東海防衛支局の政策広報活動
- ◆ 名古屋城の石垣清掃
- ◆ 愛三岐の街から～岐阜県各務原市～

## 東海3県の防衛産業・技術基盤

- ◆ 防衛の一端を担う高度な技術

平成31年4月

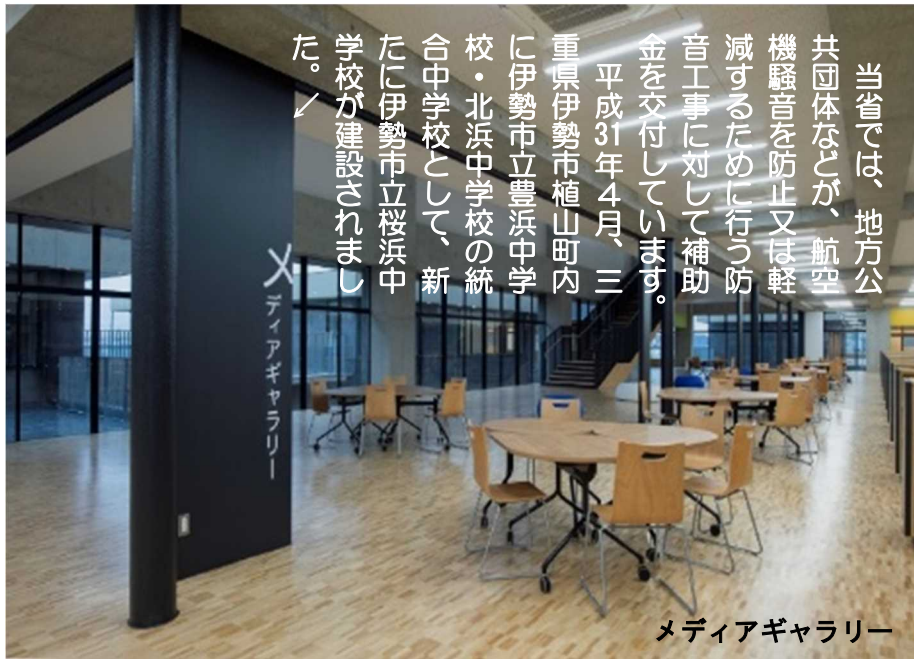
# 伊勢市立桜浜中学校開校



校舎前に咲く芝桜が綺麗な桜浜中学校

明野飛行場  
周辺

防衛施設周辺対策事業とは、自衛隊等の行為または防衛施設の設置若しくは運用により生ずる障害を緩和するための事業です。



メディアギャラリー

当省では、地方公共団体などが、航空機騒音を防止又は軽減するために行う防音工事に対して補助金を交付しています。平成31年4月、三重県伊勢市植山町内に伊勢市立豊浜中学校・北浜中学校の統合中学校として、新たに伊勢市立桜浜中学校が建設されました。

伊勢市においては、近年の少子化の進行による児童数の減少が生じており、それによる学校の小規模化に伴う教育課題を解決し、子ども達にとってより望

ましい教育環境を整備するため、小中学校の適正規模化・適正配置の取り組みを進めてきました。豊浜・北浜地区においては、平成24年5

月以降、地域や児童の保護者の方々への説明を行い、豊浜・北浜中学校統合準備会を設置し検討を重ね、桜浜中学校の開校の運びとなったものです。  
当支局では、防音補助事業として、約1億8500万円の補助を行いました。当省補助の防音工事が、様々な工夫のなされた桜浜中学校の良好な教育環境を保つ一助となることを期待しています。

これからの新しい教育環境に対応するとともに、地域に開かれた施設として、また災害時の避難所としてもご利用いただけるよう整備を行いました。多くの方々のご理解、ご協力をいただきましたことを、心より感謝申し上げます。



鈴木 健一 伊勢市長



# 災害で活躍する救助工作車

岐阜基地周辺

平成30年度に航空自衛隊岐阜基地に関連する民生安定助成事業(※)として各務原市消防本部が実施する消防施設(救助工作車)の更新事業に対し、約3300万円の補助を行いました。

当該車両については各務原市消防本部が所有する救助工作車2台のうちの西部方面消防署に配備する1台(もう1台は東部方面消防署に配備)であり、平成13年度に防衛施設庁(現防衛省)補助で新設されましたが17年余りが経過し、車両及び設備の劣化が著しく、救助活動への影響が危惧されるため、更新がなされました。

救助工作車の更新により各務原市消防全体の救出救助能力が向上し、航空機の離着陸に伴う万一の事態にも対処するためのより万全な防災体制の構築に寄与しております。



救助工作車

防衛省補助

救助資機材としてはパワーショア(支柱救助器具)を新たに積載し、火災現場にて倒壊する恐れがある箇所に使用することにより、現場活動をより一層安全に実施することができるようになりました。

更新した救助資機材の中には高度な専門技術が必要となる機材もあるため日々訓練を重ね、知識・技術の向上を図り市民の安全・安心のため全力を尽くしてまいります。



救助工作車に搭載されている  
パワーショア設置訓練

## 現場隊員の声

更新した車両は、照明装置・ウインチ・クレーンのほか、各種救助資機材が高性能になるとともに操作方法が簡略化され、現場活動がスムーズに行えていると実感しています。

本市の西部方面消防署に配備してあります救助工作車を防衛省の民生安定助成事業の補助を受け更新しました。本車両は火災現場や事故現場等に出勤し、現場に取り残された要救助者を救助するための照明装置・ウインチ・クレーンなどを一新するほか、地震を含む自然災害において発生した倒壊建物から救助するための資機材を新たに導入し、災害救助活動の対応力の強化を図ることができました。

## 市担当者の声

(※)民生安定助成事業：

防衛施設の設置または運用により生ずる障害を緩和するための事業です。

交通事故救助の訓練状況



最後の定期修理を終えたF-4戦闘機  
航空自衛隊に納入

飛行試験終了のF-4戦闘機

平成31年4月11日、F-4戦闘機で最後の定期修理を終えた57-8357号機が、官民の職員が見守る中、領収パイロットの操縦により三菱重工業株式会社名古屋航空宇宙システム小牧南工場（愛知県豊山町）から、納入先である航空自衛隊岐阜基地に向けて飛び立ちました。F-4戦闘機の定期修理は、昭和46年から始まり、これまでに延べ1231機を同工場において実施されてきましたが、本機の同整備をもって、永きにわたるF-4戦闘機の定期修理の歴史に、無事、幕を閉じました。



領収パイロット

定期修理とは、部隊で実施できない高度な検査や修理を定期的に行う整備をいい、その一連の流れは、機体の分解、検査、修理、塗装及び社内飛行試験を実施し、東海防衛支局の監督検査を経て、自衛隊に引き渡されます。

## 【三菱重工業の関係者の思い】

## 『製造部門』



長年の運用を受けて想定外の修理や部品の入手困難等の課題に直面したこともありましたが、製造・設計両部門の連携により、定期修理として万全の機体を仕上げることができたことに誇りを感じています。

## 『設計部門』



防衛省の迅速な対応も頂き、安全・安心に貢献する運用支援が出来たと考えています。最後の機体が任務を終えるまで引き続き支援をさせていただきます。

## 『後方サポート部門』



古い設計であるが故の難しいシステム調整や経年的なトラブルなどで維持・整備の苦勞も多かったですが、その分、思い入れも強い機体でした。F-4戦闘機に関わられた全ての方々に感謝致します。



## 東海防衛支局の政策広報活動

### 久居駐屯地開設67周年記念行事にて

防衛省・自衛隊の活動は、国民一人一人の理解と支持があつて初めて成り立つものであり、分かりやすい広報活動を積極的に行い、国民の信頼と協力を得ていくことが重要です。

東海防衛支局では、自衛隊の創立記念行事などの際に、防衛省・自衛隊の政策などをご理解いただくための施策として、政策広報活動を実施しています。

平成31年4月21日、陸上自衛隊



支局職員による広報活動

#### 久居駐屯地（三重県津市）

久居駐屯地は、旧陸軍の駐屯地として1908年に開設され、1952年に警察予備隊が入営、以後、陸上自衛隊久居駐屯地として使用されています。

三重県津市街地から南西約7キロメートルに位置し、現在、主力の第33普通科連隊等が駐屯しています。

久居駐屯地において、開設67周年記念行事「飛翔」が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、約5000人（主催者発表）の来場者が訪れ、隊員による行進や訓練展示等が公開されました。

東海防衛支局は、陸上自衛隊久居駐屯地内厚生センター1階に特設ブースを設け、東海防衛支局の広報誌や防衛省のパンフレットの配布を行いました。また、お子様達には、防衛省・自衛隊に興味を持ってもらえるよう装備車両等のオリジナル缶バッジを配布しました。

## 名古屋城の石垣清掃

平成31年3月26日、第10師団（守山駐屯地）第35普通科連隊

（連隊長1等陸佐 曾根勉）は、名古屋市の依頼を受け、訓練と地域貢献を兼ねて名古屋城（国の特別史跡）石垣清掃を実施しました。今年で3回目となる清掃には、隊員約200名が参加し、高さ約10メートルのほぼ垂直な石垣をロープ1本で降下し、平素の訓練で向上させたロープ技術を如何なく発揮し、石垣上を縦横無尽に移動して石垣から生えた木枝等の除去を行いました。



ロープを使用して石垣を清掃する隊員



外堀の水上を清掃する隊員



第35普通科連隊長  
曾根 勉 1等陸佐

連隊にとって、郷土のシンボルであり、市民の心の拠り所である名古屋城を清掃することが出来ることはこれ以上ない喜びであり、誇りでもあります。引き続き、地域の方々に信頼され、愛される郷土部隊を目指し日々の練磨に励みます。



「愛三岐の街から」



岐阜県

各務原市

かかみがはらし



浅野 健二 各務原市長

【笑顔があふれる元気なまち】

各務原市は岐阜県の南部、濃尾平野の最北端に位置し、市の南部には愛知県との県境となる大河南曾川が悠々と流れ、北部に目を向けると田園風景や山並みが広がるなど、豊かな自然に囲まれた都市です。春になると、新境川堤の両岸に約2キロにわたって、約1200本の桜が咲き誇ります。日本さくらの会が選定する「桜の名所100選」にも選ばれており、春の風物詩として多くの皆様にお楽しみいただいています。



新境川の桜並木

また、市の中心部にある航空自衛隊岐阜基地は現存する国内最古の飛行場であり、一昨年には開設100周年を迎えました。古くからこの地に飛行場があることで、航空機産業に関連する多くの企業が集積するなど、「ものづくりのまち」として発展しています。そして、昨年3月にリニューアルオープンした「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」は、「航空」と「宇宙」の専門博物館として、館内には国内最多となる43機の機体を展示するなど、空と宇宙の魅力が



岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

詰まった、まちが誇る施設へと成長しています。空宙博（そらはく）の愛称で親しまれ、令和元年5月3日には来館者数が50万人に達しました。このような豊かな自然や活発な産業等を背景に、本市では、「笑顔があふれる元気なまち」を目指し、すべての人がいきいきと輝き、人生を謳歌し、安心・安全に暮らすことができるまちづくりを進めています。人口減少、少子高齢化が進展する中、10年、20年先を見据え、市民の皆様や地域、企業、行政の「オール各務原」で、さまざまな施策に果敢に挑戦を続けています。

【自衛隊との関わり】

異常気象や自然災害が頻発する中、自衛隊は、市民の皆様の安全・安心の確保や災害時の対応などにおいて大変心強い存在です。自然災害を想定した市の総合防災訓練では、自衛隊の皆様にご協力いただき、救助活動などの実践的な訓練を行いました。

また、毎年3000人以上が参加する「かかみがはらシティマラソン」での豚汁の提供や、自衛隊主催の盆踊りの開催など地域の活性化にも大いに貢献をいただいています。



かかみがはらシティマラソン

## 「防衛の一端を担う高度な技術」

それぞれの職業に心じた機能的なユニフォームを届ける

三重ユニフォーム株式会社

三重ユニフォーム株式会社は、昭和22年6月に三重県津市で創業し、縫製については、昭和24年に三重県警察及び三重交通の制服から始まりました。その後、各都道府県警察本部、海上保安庁、民間鉄道会社及びバス会社などの各種制服も作成しています。

防衛省向けの制服の縫製は、平成20年度から航空自衛官用制服作成から始まり、昨年度から採用された陸上自衛官用16式制服の他、各自衛隊向けの制服が既に約10万着納入されています。



陸上自衛官用16式制服

### ● 三重ユニフォームの流儀

三重ユニフォーム株式会社は、制服の縫製専門メーカーで、制服のデザインや仕様を作成することはありません。制服づくりの流儀は、毎年安定した制服を納めることを基本とし、発注先から細かく規定された仕様を守りつつ、様々な技術を駆使して、肩が凝らず、身体の曲線へ沿わせ、着心地が良く、働きやすく、見栄えのする制服を納めることとしています。

今回、縫製している陸上自衛官用16式制服（以下、「16式制服」という。）にはカシミアドスキンという生地を使用しています。カシミアドスキンは、燕尾服用の生地として以前から用いられてきたものであり、気品がある高級なものです。デリケートな生地のため、

め、縫製には気を使います。特に、布が擦れて光りやすく、縫い目がしわになりやすいので、縫製職人が1点1点手作業により、手間をかけた慎重な縫製を行なっています。

### ● 16式制服作成の工程

16式制服が出来上がるまでの流れは、生地等の調達から始まり型紙作り、裁断作業、縫製作業、中間検査、手まつり作業、仕上げ作業（プレス）、最終検査、上下組合わせ作業及び出荷作業と大きく分けて10の工程を経ています。

### ● 品質を支える高度な技術

制服を作る上で技術が重要な工程である「型紙作り」及び「いせ込み」を紹介します。

制服を作成する上での「型紙作り」は、型紙作りの出来ばえにより、その後の裁断、縫製作業後の出来上がりで制服の丈が短かったり、着心地が悪い制服になってしまつたため、熟練の技術者が、正確な作業を心掛けながら型紙作りを行なっています。なお、制服は、一般の衣類に比べて型紙のパーツ数も多くなります。また、16式制服は、身長や体型別に37サイズありますが、より身長や体型に合わせるため、旧制服より3サイズ多くなっています。そのため、全サイズの型紙を表生地、裏地などの

材料別、サイズ別に分類することにより、3858パーツもの膨大な型紙を6か月程度をかけて作成しています。

縫製作業の一部である「いせ込み」とは、平面である布に丸みをつけて立体的にする縫製技法のことを言います。主にジャケットの袖付けに使用され、袖山が身体にフィットするようにしている（写真の赤丸印）のが特徴です。このように仕立てることで胸や背中の美しさを保ちつつ、動きやすい肩周りを実現しています。肩の可動域も格段に増えますが、袖側の生地を少しづつ縮めながら肩穴に縫い合わせていくので、非常に高度なミシン操作が要求されます。

三重ユニフォームは、高度な技術と丁寧な作業により、自衛官の威風を保ちつつ機能的な制服を製造・納入しており、我が国の防衛に大きく貢献しています。

いせ込みの技術





# 2019年度防衛省職員採用試験の御案内

東海防衛支局は、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験の合格者から職員を採用しています。

## 国家公務員採用一般職試験（高卒者試験、社会人試験）

- 【申込受付期間】（申込みは、インターネットにより行ってください。）  
2019年6月17日（月）9：00～6月26日（水）【受信有効】
- 【試験の日程】
- |             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 第1次試験日      | 2019年 9月 1日（日）           |
| 第1次試験合格者発表日 | 2019年10月 3日（木） 9：00      |
| 第2次試験日      | 2019年10月 9日（水）～10月18日（金） |
| 最終合格者発表日    | 2019年11月12日（火） 9：00      |

防衛省ホームページ  
「採用情報」

<https://www.mod.go.jp/j/saiyou/index.html>



人事院ホームページ

「国家公務員試験採用情報NAVI」

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>



※ 詳しい情報は、上記の防衛省及び人事院のホームページをご確認下さい。

## 自衛隊地方協力本部からのお知らせ

自衛隊地方協力本部（地本）は、自衛隊を志す方やご協力・ご支援を頂ける皆様への窓口です。

### 愛知地方協力本部

（電話）052-331-6266

<https://www.mod.go.jp/pco/aichi/>



#### ●「自衛隊広報ルームへ、ご招待♪」

自衛隊の写真パネルや模型、実物大の装備品などを展示している楽しいスポットです。自衛隊グッズがゲットできるイベントDAYもありますので、ぜひ遊びに来て下さい！

### 岐阜地方協力本部

（電話）058-232-3127

<https://www.mod.go.jp/pco/gifu/>



#### ● 防衛省自衛隊広報センター「自衛館」

自衛隊のパネルや「親子プラモデル教室」で作成されたプラモデル、装備品の模型などを展示している楽しいスポットです。ぜひ遊びに来て下さい♪

### 三重地方協力本部

（電話）059-225-0531

<https://www.mod.go.jp/pco/mie/>



#### ● 各種イベントや自衛隊に関する情報を紹介！

各種SNS

（Twitter、Facebook、Instagram）も随時更新中！

詳しくは、ホームページでお待ちしております。

## 自衛官等募集案内

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生	18歳以上 33歳未満の者	年間を通じて行っています。	受付時にお知らせします。	合格発表は試験日にお知らせします。

※ 詳しい情報は、上記の各自衛隊地方協力本部にご確認下さい。

## 新着任者紹介



岐阜防衛事務所長  
1等空佐 林田 博行  
令和元年5月25日

令和元年5月25日付で岐阜防衛事務所長を拝命した林田1佐です。

当事務所の任務は防衛装備品の契約の履行に関する監督・検査、原価監査の他、防衛省への理解、協力確保のための地元との連絡調整があります。いずれも、自衛隊の任務遂行を支える重要な任務であり、その重責に身が引き締まる思いですが、明るい所員とともに、一致団結して良い仕事をしていく所存です。



装備課長  
2等空佐 佐々木 潮  
平成31年2月1日



施設補償管理課長  
三浦 共幸  
平成31年4月1日

